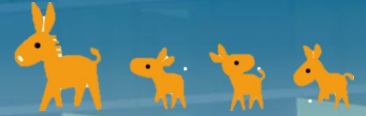


認知症まちづくり報告会

(認知症について考える会)



◆第11回◆

令和3年3月14日(日)

参加者 26名

(Zoomウェビナー16名、来場者10名)

場所 Zoomウェビナーによるオンライン開催

(豊橋市役所東館13階での

パブリックビューイングも同時開催)



2021/03/14

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い残念ながら中止となりましたが、今年度は感染拡大防止に配慮し、初めてオンラインで開催しました。

今回のテーマ「コロナに負けるな 会えなくてもつながろう」のもと、認知症になっても安心して暮らせるまちに向け、豊橋市内で取り組まれている様々な事例の報告会を行いました。

報告事例

1. 認知症のご本人の言葉の紹介

豊橋市役所長寿介護課 渡邊 文子

2. 認知症を切り口に取り組む、

みんなにやさしい電気屋さん

マツヤデンキ岩田店

社長 新地 千加子さん

3. 道に迷った認知症の方に声掛けしたことから

学ぶこと ～3名の方へのインタビューより～

【報告者】認知症地域支援推進員

土川 知子さん

【取材対象者】①豊橋創造大学 蒔田 寛子さん

②豊橋市役所 小久保 篤史さん

③(株)大木家 中西 崇夫さん

事例1《感想》

まだまだ認知症に偏見を持つ方はたくさんいると思うので、他の人にも聞いてもらいたい。これからを担う子どもたちにも聞いてほしい。



事例2《感想》

マツヤデンキさんのように認知症へ関心の高い方がいることは心強いです。地域の人みんな、認知症に限らず安心して生活できる豊橋になるといいなと思いました。

事例3《感想》

道に迷う人がたくさんいることに驚き、啓発が大切だと感じた。インタビューを聞くことで、自分が出会ったらどうしたらよいか考えるきっかけになった。

①蒔田寛子さん(豊橋創造大学)



②小久保篤史さん(豊橋市役所)



③中西崇夫さん(株式会社大木家)



豊橋市役所長寿介護課
地域予防啓発グループ
電話：51-2339